



## ライフラインの各種更生工法を開発

地下や建物などに埋設されているガス管、水道管、下水道管などの老朽化したライフラインを、維持・管理するための各種更生工法を開発。主に、取替が困難なパイプ等を特殊な工法で製造したホースとパルテムの各種工法により補修工事を行っている。

### 業況等の動向について

#### 本業の動向について

防災分野における機能性消防用ホース等の製品、産業分野における漁業、船舶用ロープ、濾過布などの機能製品、自動車安全分野におけるシートベルト、エアバッグ、トノカバーなどの製造。

受注状況については、多少の波はあるものの順調に推移。しかし、2011年度は、東日本大震災、タイの洪水被害による影響が出ている。

#### 異業種参入事業の概要

地下や建物などに埋設されているガス管、水道管、下水道管などの老朽化したライフラインを、維持・再生するための各種更生工法を開発。取替が困難なパイプ等を特殊な工法で製造したホースとパルテムの各種工法により補修工事を行う(パルテム部門)。

業況としては、国内のライフライン老朽化により、各地で取替え時期が来ており、それに伴うライフラインの補修工事の受注が増えている。現在の売上高は 4,944,000 千円、売上高構成比 12.4%となっている。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

関東近郊のガス管老朽化による工事が必要になったことで、取替えが不可能な箇所の補修工事を行うのに、当社の消防用ホース製造技術が評価され、補修製品の共同開発を、東京ガスから委託されたのがきっかけである。

#### マーケティング及び投資について

委託により始めた事業なので、マーケティングは行っていない。投資については、事業開始当時(1980年)の資料がなく不明である。

#### 参入して最も成果のあがったこと

パイプの再生分野は、当社が業界初であったので、会社の知名度も上がり、売り上げの面でも増収、増益であった。

#### 参入して最も困難だったこと

ホースの材料の選定や材料の開発など。パイプの材質により変わるホースの開発。パイプが地中に埋設されている為、強度の面で強い材質の選定や開発など。

#### 参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

消防用ホースは繊維で作ったホースの内側に、ゴムや特殊シートなどを貼り付け水漏れを防いでいる。

逆に補修用ホースは、繊維で作ったホースの内側に固化する特殊な接着剤を塗布し、ホースを補修するパイプ管内に引き込む際に反転、膨らませ、管内面に圧着させる。上・下水、油などの他のパイプにも活用されており、まだ、他のパイプへの活用が可能である。

#### 今後の展望・見通し

他用途パイプラインへの拡大。農業分野の一部へ進出しており、更なる拡大をする。海外へも進出をしており、こちらも更なる区域の拡大。

#### メリット・デメリット

メリットとしては、他社が進出していない分野であれば堅実な事業であるので利益率も大きい。

デメリットとしては、何でも上手くいく訳ではなく、失敗したときの負担は大きい。

#### 異業種参入時のアドバイス

確実に市場性のあるところにしか進出をしない。容易に他社が真似できるようなものはやらない。自社の持っている技術、ノウハウの延長線上にあるものにする。独自のものを、他の何かに流用できるものにする。

### 行政の支援について

#### 異業種参入に際し、行政に対して望む支援

公的な工事が多いが工事が下半期に集中し、特に3月になると多忙を極めるので工事の計画、時期などの改善を希望したい。

#### 会社概要

設立:昭和10年12月27日

資本金:8,388百万円

従業員数:1,700名(連結)

URL: <http://www.ashimori.co.jp>